

## 国スポ説明事項(重要部分抜粋)

## 【資料確認】

**資料7** 国スポ（ブロック大会含む）関係について

**資料8** 国スポ参加資格関係書類

## 配布物

ブロック大会開催競技：宿泊 ID、実施要項は大会 Web サイトにて各自確認

1. 国スポ関係について **資料7**

## 【各自確認】

P 2～20 国民スポーツ大会総則

P21～22 日程及び会場一覧について

P26～28 九州ブロック大会総則

P29～31 九州ブロック日程及び会場一覧について

## 【留意事項確認】

**P32 会議日程確認(監督会議・AD 研修会・結団式日程)**

**九ブロ申込期日確認 (県の締切日に留意)**

- ・県の締切日は競技日の5週間前に設定しています。日程と併せて確認して下さい。  
※近日中に予定している申込手続の案内にて各期日対象競技の詳細を記載しているので改めて確認して下さい。
- ※実施要項は大会実行委員会への申込期限。沖縄県の申込期限はさらに2週間前なので注意。
- ・申込書類一式は後日送付予定
- ※申込と併せて納入  
九ブロ：種別負担金・参加者傷害補償制度加入負担金

**P1 本大会申込期日確認 (県の締切日、宿泊申込期日に留意)**

- ・例年以上にブロック大会からの期日が短いため、本大会分のシステム入力を事前に行い保存しておくなど、申込の準備をお願いします。
- ※申込と併せて納入  
本大会：ユニフォーム代金・参加者傷害補償制度加入負担金  
ユニフォームについて、納品スケジュールの都合上、必ず期限内に提出して下さい。
- ※その他、参加申込システムアカウントについて、新規アカウント（IDのメールアドレス変更）の依頼などは早めに連絡をお願いします。
- ※参加申込システムへログインする際のユーザーID は登録メールアドレスとなっておりますのでご留意ください。

## P23～24 本大会における宿泊について

- ・宿泊施設不足のため、県外配宿の可能性もあり。
- ・団体競技については宿替え、対戦相手との同宿の可能性あり（宿替えの場合、荷物移送は選手団にて行うこととなります）。
- ・団体競技について、宿泊取消料の発生を極力抑えるため、宿替え・対戦選手との同宿を予定していますが、申込時の以下留意点を確認して下さい。

※競技開始日から最終日の前日までは必ず申し込みを行うこと（最終日当日の宿泊を申込した場合、取消に係るキャンセル料が発生します）。

※エントリー外（派遣支給対象外）のスタッフ等の取消料が発生した場合、競技団体負担となりますのでご注意ください。

## P25 本大会総合開会式の参集範囲について

- ・対象競技が掲載されていますので事前にご確認ください（対象競技は変更可能性あり）。
- ※参加人数に20名の上限があるため、参加者の調整を行う場合があります。

## 2. 国スポ参加資格関係書類について 資料8

### P1～16 「参加資格、年齢基準等の解釈・説明について」

- ・国スポ実施要項総則に記載のある参加資格及び所属都道府県、参加区分（居住地、勤務地、ふるさと、特例措置等）など、各項目における解釈が記載されておりますので、参加資格判断の際の参考にご活用ください。

### P17～19 「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準

- ・多くの選手が該当すると思われる居住地や勤務地を選択する際の認定基準について、説明が記載されておりますので、必ずご確認ください。

※居住地：当該年度の4月30日から大会終了時まで、冬季大会は4月30日から10月31日までの総日数の半数を超えて住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があること。（対象期間中に住民票を移動する場合は居住地の選択はできない）

※勤務地：要件を満たす際の前提としては原則としてフルタイム（週40時間程度勤務）の職業を意図しています。

※判断が難しい場合は、申込前にお問合せ下さい。

### P22 監督への公認スポーツ指導者資格義務付けにおける取扱いについて

- ・2026/9/30が有効期限の場合は、10/1付更新登録手続きが可能な方のみ該当。

※2026/3月までに更新講習受講・更新手続きを行った方のみが該当のため要注意。

※この有効期限は九プロ大会にも適用されます。九プロ大会時点で資格が有効であっても、当該年度の9月30日で期限が切れる場合は参加資格違反となるため要注意。

※冬季大会は2026年10月1日時点で有効期限が2027/3/31以降の方が該当。

保留は×

## P26～27 トップアスリートの特例措置について

- ・各自ご確認のうえ、該当する可能性がある場合は本会または各 NF へお問い合わせください。

## P28～37 所属都道府県選択における事例

- ・国スポでは、過去に出場した都道府県と異なる都道府県から出場する場合、2大会あけて出場する必要がありますが、以下に該当する場合は2大会をあけずに出場することが可能です。
  1. 新卒業者(大学)
  2. 結婚または離婚に係る者
  3. 一家転住等に係る者(少年種別)
  4. ふるさと選手制度を活用する者
- ・上記特例措置を活用する際の選択事例が紹介されていますので、必要に応じ各自ご確認下さい。
  - ※特に問い合わせの多い「ふるさと選手」について、概要は以下のとおり P20 (参照)。
  - ※ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、活用できる回数は2回までとなっています(2年以上の活用を以って解除することが出来ます)。
  - ※1度登録したふるさととは変更することが出来ないためご留意下さい。
  - ※76回大会から卒業小学校も選択可能となっていますので、成年種別の選手については、積極的にご活用下さい。
  - ※活用の際の詳細は P34～35 の活用事例をご参照ください。

## P38～43 参加資格確認書について

- ・参加申込時、参加資格確認書にてチェックを行ってください。チェック時に不明な点がある場合は、本会へお問合せください。
  - ※都道府県予選会参加時から資格確認が必要になりますのでご留意ください。
  - ※記入は必ず参加者本人が確認し、記載するようお願いいたします(参加者自身が参加資格について把握しておらず、参加違反をしてしまう事例が多数報告されています)。
  - ※参加資格確認書の提出をもって「個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて」同意を得たものとして対応します。
  - ※記入例の色付き部分について、記入漏れの無いようお願いいたします。また、参加資格に係る確認事項については「はい・いいえ」のどちらか該当する方に○を記入してください。下線のついている「いいえ」に1つでも該当する場合、参加資格を満たしていないと判断されます。
  - ※いくつかの事例に則り記入例を作成しておりますので各自ご参照ください。
  - ※県内在住者(成年・少年)について、特別な理由がない限り、居住地区分での参加申込を推奨します。(水泳競技等、競技特有の申込条件がある場合を除く。)
  - ※居住地を選択した場合でもシステム上のプログラム掲載欄へ勤務先や学校名の掲載は可能。
  - ※少年種別において、参加区分を学校所在地にする場合は、「学校教育法」第1条に規定する学校であるか確認をお願いします。(通信制高校等は含まれません。)
  - ※例年、提出された参加資格確認書と申込システムの内容の相違が多数見受けられます。申込システム入力の際は、参加資格確認書を手元で確認しながら行ってください。

## P44 国民スポーツ大会参加資格違反事例集 ※事例1～4紹介。

- ・よくある参加資格違反に係る確認ポイント
  - ※都道府県予選、九州ブロック大会も国スポ参加に含まれるため、特にふるさと選手等は他の都道府県開催の予選会等に参加していないかの確認が必要です。
  - ※指導者資格について、九州ブロック大会のみの参加となった場合でも、本大会終了まで資格期限が有効である必要があります。そのため、資格有効期限が2026年9月30日となっている方は資格更新が可能かを確認のうえ、漏れなく更新手続きを行ってください。
  - ※回数を同じくする大会における参加は、冬季大会・本大会にそれぞれ1競技限りとなります。都道府県予選会や九州ブロック大会への参加についても同様に参加の扱いとなりますので、複数の競技を行っている選手については予選会時点からの確認が必要です。
  - ※九州ブロック大会において「居住地」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかを選択して参加する場合、当該年度の4月30日から大会終了時まで選択区分の要件を満たす必要があるため、留意して下さい（4月30日から本大会終了の期間中の選択区分に係る拠点移動は認められません）。

## 3. アンチ・ドーピング教育の事前受講について 資料8

- P45
- ・国スポ本大会参加にはアンチ・ドーピング教育の事前受講が義務となっています。
  - ・受講対象者は選手（選手変更者含む）、監督、18歳未満である選手の保護者等です。
  - ※「参加申込システム登録前から1年以内」に受講済みである必要があります。

### P46～49

- ・対象となる教育活動の内容については、P46のとおりです。
  - ・各競技団体での研修会実施や、Webによるデジタルラーニング及び「クリーンスポーツ行動チェック」への回答が必要。
  - ・種別や参加区分ごとに対象教材が異なりますのでP47を参照してください。
    - ※未成年選手及び保護者：クイズレベル1の合格認定（満点）画面から修了証をダウンロード。
    - ※監督及び成年種別：クイズレベル2の合格認定（満点）画面から修了証をダウンロード。
- (P49 参照)
- ・クイズ回答の際は、P48を参照し必要項目を入力してください。
    - ※出身地：「沖縄県」と入力して下さい
    - ※登録コード：「aomori2026」と入力して下さい。

### P50～51

- ・研修会への参加またはクイズに合格後、選手については「国民スポーツ大会選手カード」の右下にある「アンチ・ドーピング教育履歴」欄へ受講実績を記入し携帯してください。
  - ※18歳未満の選手については、保護者の受講実績も記入必須です。
  - ※監督については「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング教育履歴確認カード」を記入携帯してください。

**※第80回大会より、選手カード等の記載内容が一部変更になりますのでご注意ください。**

※ウェビナー視聴やクイズ回答、詳細の確認は以下URLよりご確認ください。

↓ ↓ ↓ ↓

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid1395.html>